

伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ 2）
実施報告書（案）

平成 20 年 3 月

伊平屋空港協議会

目 次

	(頁)
1 . P I活動(ステップ2)の実施状況	1
(1) P I活動(ステップ2)の実施対象者	1
(2) P I活動(ステップ2)の実施計画	2
(3) P I活動(ステップ2)の実施状況	3
1) 周知・広報の活動内容	3
2) 情報提供・意見収集の活動内容	4
2 . 寄せられた意見の分析	6
(1) 分析方法	6
1) 対象とする意見	6
2) 分析する項目	7
3) 自由意見を分類する方法	8
(2) 分析結果	9
1) アンケート回答者の属性	9
2) P I活動の開始を知った情報メディア等(複数回答あり)	10
3) 「伊平屋空港の調査報告書2」の内容についての興味	12
4) 「伊平屋空港の調査報告書2」の内容についての理解度	13
5) 寄せられた意見	15
3 . P I活動(ステップ2)の評価	19
(1) 評価方法	19
1) 評価の対象	19
2) 評価の方法	21
(2) P I活動の評価	20
1) P I活動は適切に行われたか	20
2) 提供する情報は周知されたか	21
3) 提供した情報が共有され理解されたか	22
4) 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか	23
(3) P I活動の総合評価	24
参考資料	巻末
1 . P I活動(ステップ2)の実施状況(記事、写真)	
2 . 伊平屋空港P Iに関する説明会の議事要旨	

1. P I 活動（ステップ2）の実施状況

「伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（P I）実施計画書」に基づき、P I 活動（ステップ2）を実施した。

（1）P I 活動（ステップ2）の実施対象者

伊平屋・伊是名村民

地元関係団体

沖縄県民

伊平屋空港に関心を有する個人及び団体

伊平屋・伊是名村民の人口及び世帯数

	人口（人）		世帯数（世帯）	
	H18.3	H17.3	H18.3	H17.3
伊平屋村	1,534	1,547	570	557
伊是名村	1,800	1,841	798	801
伊平屋村 + 伊是名村	3,334	3,388	1,368	1,358
沖縄県合計	1,381,820	1,372,388	523,579	511,942

出典：住民基本台帳（平成18年3月31日、平成17年3月31日現在）

(2) P I活動(ステップ2)の実施計画

「伊平屋空港のパブリック・インボルブメント実施計画書」におけるP I活動(ステップ2)の実施計画は以下に示すとおりである。

P I活動(ステップ2)の実施計画

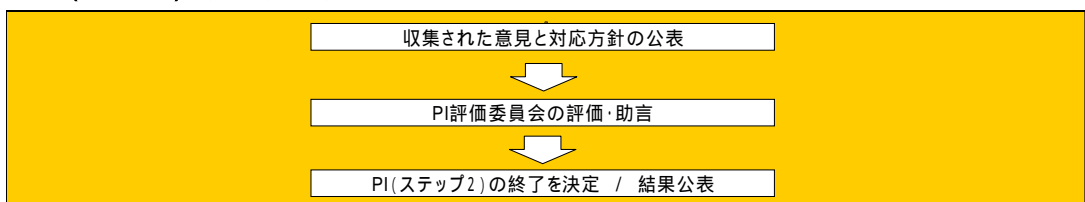
1. P I(ステップ2)開始の周知(広報)

手法	内容	P I対象者			
		伊平屋・伊是名 村民	地元関係団体	沖縄県民	主要な対象者 県外の個人・団 体
行政広報誌への 記事掲載	伊平屋村、伊是名村が定期的に配布する広報誌に、P I開始を周知 する記事を掲載する				-
ポスターの掲示	P I開始を周知するポスターを作成し、フェリーの発着場所である港 の待合所、県庁、村役場に掲示する				-
ホームページへの 情報掲載	沖縄県、伊平屋村、伊是名村のホームページにおいて、P I開始を 公表する				

2. P I(ステップ2)の実施(情報提供・意見収集)

手法	内容	P I対象者			
		伊平屋・伊是名 村民	地元関係団体	沖縄県民	主要な対象者 県外の個人・団 体
冊子 パンフレットの配布	伊平屋空港の整備計画の妥当性等に係る調査結果をわかりやすく とりまとめた冊子やパンフレットを作成し、地元自治体、地元関係団 体に配布するほか、行政の情報窓口等にて配布する。また、フェ リーの発着場所である港の待合所にも備え置く				-
ホームページへの 情報掲載	沖縄県、伊平屋村、伊是名村のホームページにおいて、伊平屋空 港の整備計画の妥当性等に係る調査結果概要を公表し、意見募集 のPRを行う				
説明会	伊平屋村及び伊是名村において、伊平屋空港の整備計画の妥当 性等について、両村の住民等を対象とした説明会を開催する				-
はがき・インター ネットメール等によ る意見募集	はがき・インターネットメール等を利用して、伊平屋空港の整備計 画の妥当性等に係る情報について、充分認知・理解されたかを確認す るとともに、両村民をはじめとする県民等から意見を募集する				

3. P I(ステップ2)の終了・結果公表



P I
実施
準備
期間

P I
実施
期間
(3
~
4
ヶ月
程度)

(3) P I 活動 (ステップ2) の実施状況

P I (ステップ2) の実施状況は以下に示すとおりである。なお、P I 活動の記事や写真については参考資料を参照することとする。

1) 周知・広報の活動内容

行政広報誌等への記事掲載

分類	掲載記事	掲載日・掲載号
新聞	県民サロン (琉球新報、沖縄タイムス)	2月15日
広報誌	広報いへや	2月号
	広報いぜな	2月号
	美ら島沖縄	2月号

ポスターの掲示

掲示期間	掲示場所
1月21日 (PR活動開始) ~ 2月29日 (意見募集終了)	伊平屋村、伊是名村役場 沖縄県庁 那覇市、名護市、浦添市等の各役所 那覇空港、離島空港 運天港 (伊平屋発券所・伊是名発券所) 前泊港 (伊平屋村) ターミナル 仲田港 (伊是名村) ターミナル 伊平屋村、伊是名村関係団体 等

ホームページへの掲示

掲示期間	掲示場所
1月21日 (PR活動開始) ~ ステップ2終了	沖縄県土木建築部空港課ホームページ 伊平屋村ホームページ 伊是名村ホームページ

追加実施した活動

手法	実施期間	実施場所・内容
新聞への記事掲載	PR活動期間及び 情報提供期間	PI実施の周知として、新聞（副読誌）に4誌・6回掲載。 ・沖縄タイムス インフォプラザ：2回 ・琉球新報 いきいき遊らんど くらし&情報ガイド：2回 ・週刊沖縄建設新聞：1回 ・週刊レキオ（琉球新報）：1回
テレビ放映	2月23、24日	県政広報テレビ「うまんちゅひろば」
ラジオ放送	2月18日～22日	県政広報ラジオ「ラジオ県民室」
チラシの配布	PR活動期間	伊平屋・伊是名村の全戸に配布 （世帯数 伊平屋村：570戸、伊是名村：798戸）
マスコミへの 情報提供	1月29日	沖縄県土木建築部とマスコミの記者との定例記者懇談会
電光広告塔	1月23日～2月29日	沖縄県議会棟前の電光広告塔 （掲載内容：伊平屋空港整備計画等に対する意見を募集中 二月一日～二十九日）
地元の防災無線 による放送	説明会の開催当日	伊平屋村・伊是名村の説明会当日に、説明会への参加を周知。

2) 情報提供・意見収集の活動内容

調査報告書2の配布

配布期間	配布場所
2月1日（意見募集開始）～ 2月29日（意見募集終了）	伊平屋村、伊是名村役場 沖縄県庁 那覇市、名護市、浦添市等の各役所 那覇空港、離島空港 運天港（伊平屋発券所・伊是名発券所） 前泊港（伊平屋村）ターミナル 仲田港（伊是名村）ターミナル 伊平屋村、伊是名村関係団体 等

ホームページへの掲示

掲載期間	掲載場所
1月21日（PR活動開始）～ ステップ2終了	沖縄県土木建築部空港課ホームページ 伊平屋村ホームページ 伊是名村ホームページ

地元説明会

開催日時	開催場所	参加人数
平成 20 年 2 月 20 日（水） 午後 3 時 10 分より	伊平屋中学校 （対象者：伊平屋中学校、野甫小中学校に通う中学生）	72 名
平成 20 年 2 月 20 日（水） 午後 7 時 00 分より	伊平屋村離島振興総合センター （対象者：伊平屋村民）	74 名
平成 20 年 2 月 21 日（木） 午後 7 時 00 分より	伊是名村産業支援センター （対象者：伊是名村民）	19 名
平成 20 年 2 月 27 日（水） 午後 7 時 00 分より	浦添宜野湾漁業協同組合研修センター （対象者：沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会）	59 名

意見収集

収集期間	意見収集数 （合計）	手段別意見収集数
2 月 1 日（意見募集開始）～ 2 月 29 日（意見募集終了）	977 通 （362 通）	ハガキ（説明会を除く）：774 通（281 通） ホームページ（メール）：34 通（3 通） 説明会：169 通（78 通）

（ ）内の数字は、PI ステップ 1 における意見収集数を示す。

追加実施した活動

手法	掲載期間	掲載場所
パネル展示	2 月 18 日～2 月 29 日（意見募集終了）	運天港ターミナル （伊平屋・伊是名発券所） 前泊港ターミナル 仲田港ターミナル
	2 月 18 日～2 月 29 日（意見募集終了）	沖縄県庁 10 階空港課
	2 月 25 日～2 月 29 日（意見募集終了）	沖縄県庁 1 階県民ホール

2. 寄せられた意見の分析

(1) 分析方法

1) 対象とする意見

意見収集期間は2月1日～2月29日であるが、ハガキについては3月1日(土)以降に受理したのも集計対象とした。メールについては3月3日(月)にホームページ上でのメールの受付を終了し、3月2日までのメールを対象としている。

質問事項の全ての回答記入欄が無記入であるものは対象としない。また、該当する番号の選択方法が不明である場合は、無回答とする。

調査報告書(アンケート用紙を含む)の配布部数3,499部のうち、アンケート回収数は977通であり、回収率は28%となった。アンケート回収数977通の主な内訳(回収場所別)は、以下に示すとおりである。

手段	回収場所・方法		回収数
ハガキ	伊平屋村	伊平屋村役場	19通
		前泊港	5通
		運天港(伊平屋発券所)	0通
		フェリー	0通
	伊是名村	伊是名村役場	27通
		仲田港	9通
		運天港(伊是名発券所)	5通
		フェリー	20通
	沖縄県庁	1F 県民ホール	48通
		10F 空港課	9通
	説明会	伊平屋中学校 (対象:伊平屋中学校、野甫小中学校に通う中学生)	64通
		伊平屋村離島振興総合センター(対象者:伊平屋村民)	65通
		伊是名村産業支援センター(対象者:伊是名村民)	17通
		浦添宜野湾漁業協同組合研修センター (対象者:沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会)	23通
その他	ポストへの投函、伊平屋・伊是名村各世帯からの回収等	666通	
メール	伊平屋空港PI(ステップ2)のホームページ		34通
アンケート総回収数			977通

2) 分析する項目

調査報告書の内容について寄せられた意見を整理し、以下に示す5つの項目の分析を行う。

- 属性（性別、年齢、職業、居住地）の分析
- PI活動の開始を知った情報メディア（ご意見募集 問1）
- 「伊平屋空港の調査報告書2」の興味（問2）
- 「伊平屋空港の調査報告書2」の理解度（問3～9）
- 寄せられた意見の分類（問10）

調査報告書2のご意見募集用紙（裏面）

問1. 今回のPI（ステップ2）が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。
 （回答は複数でも結構です。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください。）

1. 調査報告書2の配布	2. ポスター	3. ホームページ
4. 行政の広報誌（「広報いへや」、「広報いぜん」等）	5. 周囲の人などからの伝言（口コミ）	
6. テレビ・ラジオ	7. 電光公告塔	
8. その他（「その他」の内容を回答記入欄にご記入ください）		

問2. 今回ご提供した「伊平屋空港の調査報告書2」の内容について、興味をもちましたか。
 （回答は1つです。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください。）

1. とても興味深かった	2. 興味深かった	3. 余り興味もてなかった	4. 興味がない
--------------	-----------	---------------	----------

以下の問3～問10の設問は、お読みいただいた「伊平屋空港の調査報告書2」の内容について、どの程度ご理解いただけたかをお伺いするものです。以下の設問に対する答えをハガキの回答欄にご記入ください。
 （各設問につき回答は1つです。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください。）

1. 理解できた	2. ある程度理解できた	3. よくわからない
----------	--------------	------------

問3. 伊平屋空港のPIの進め方についてご理解いただけましたか。（調査報告書 1頁）

【回答記入欄】

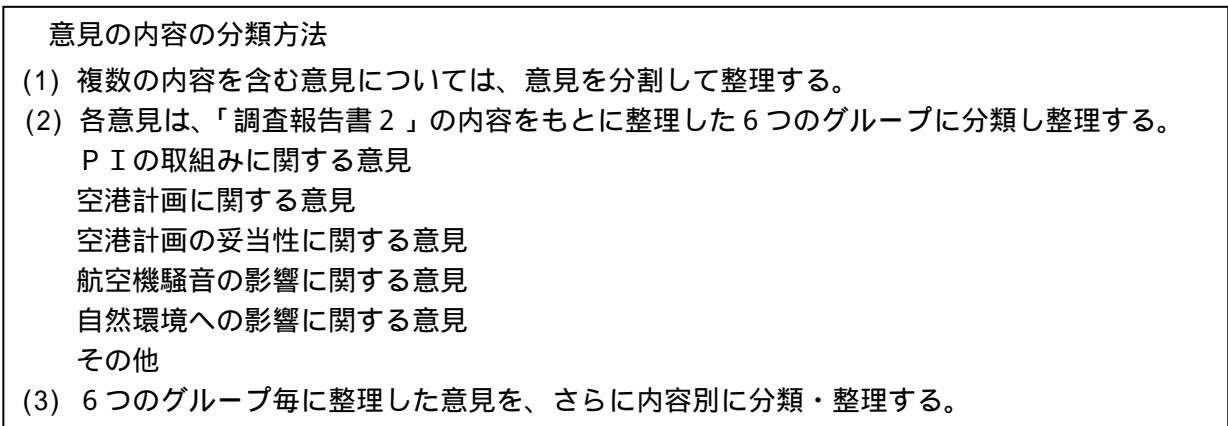
問1: 1・2・3・4・5・6・7・8 その他:	問4. PIステップ2終了後、開港までに必要な検討内容の手続きについてご理解いただけましたか。（調査報告書 1頁）
問2: 1・2・3・4	問5. 伊平屋空港に計画されている施設の内容についてご理解いただけましたか。（2頁）
問3: 1・2・3	問6. 空港の配置がどのような点に配慮されて計画されているのかご理解いただけましたか。（調査報告書 3～4頁）
問5: 1・2・3	問7. 空港計画の妥当性についてご理解いただけましたか。（調査報告書 5頁）
問7: 1・2・3	問8. 周辺環境に対する影響や今後の対応についてご理解いただけましたか。（調査報告書 6頁）
問9: 1・2・3	問9. 空港整備計画の概要（概元）についてご理解いただけましたか。（調査報告書 裏表紙）
問10: 自由回答欄	問10. 今回ご提供した「伊平屋空港の調査報告書2」の内容について、ご意見やご感想を自由回答欄にお書きください。

○貴方自身のことについて教えてください。

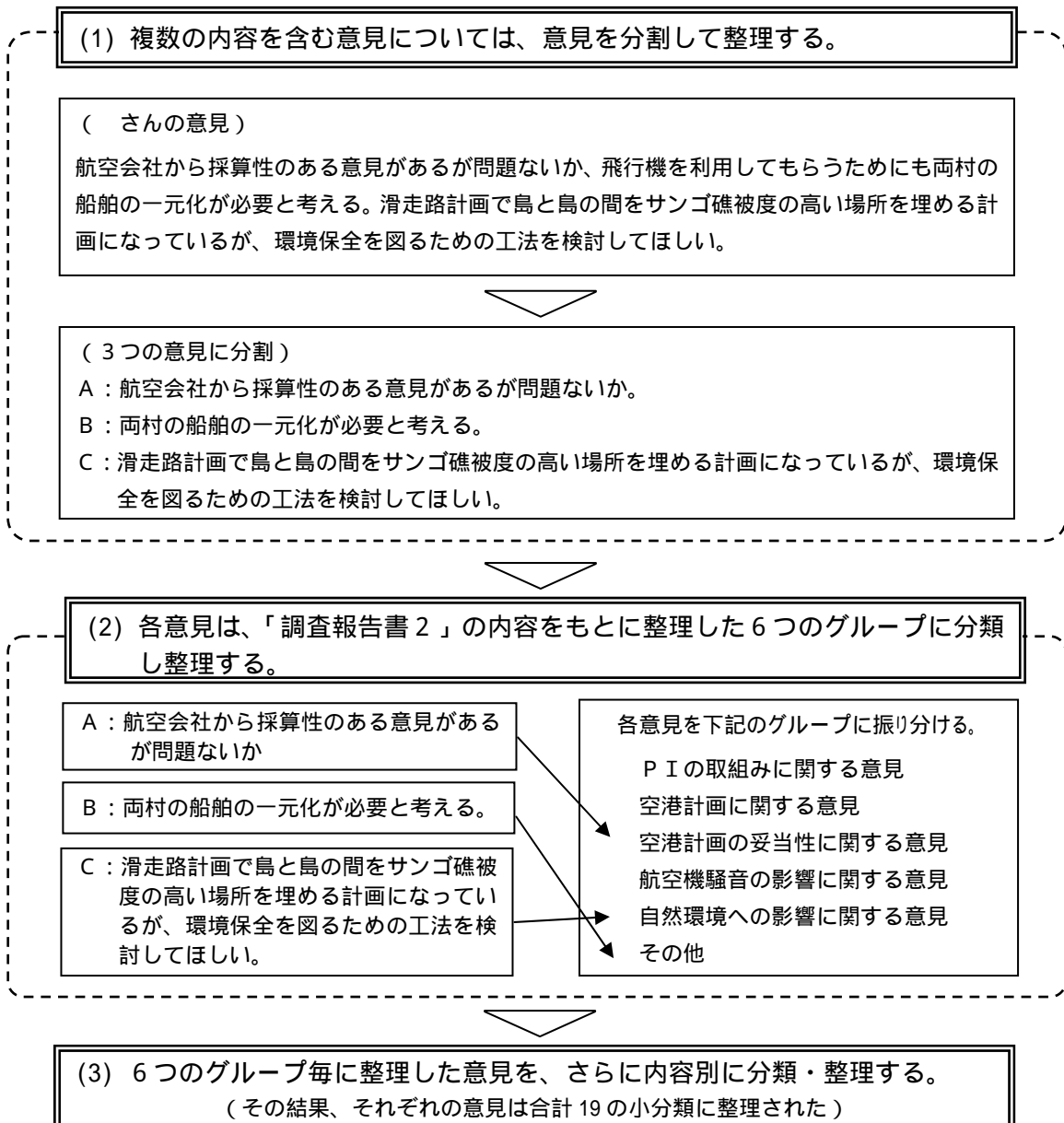
性別	年齢	職業	居住地
性別: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢: <input type="checkbox"/> 10歳未満 <input type="checkbox"/> 10歳～19歳 <input type="checkbox"/> 20歳～29歳 <input type="checkbox"/> 30歳～39歳 <input type="checkbox"/> 40歳～49歳 <input type="checkbox"/> 50歳～59歳 <input type="checkbox"/> 60歳～69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上	職業: <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主夫 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 無職	居住地: <input type="checkbox"/> 伊平屋町 <input type="checkbox"/> 伊平屋町以外

3) 自由意見を分類する方法

寄せられた自由意見は以下の分類方法（作業手順）により、分類を行う。



意見の内容の分類のイメージ

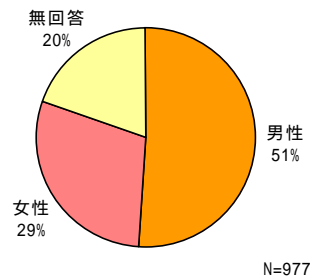


(2) 分析結果

1) アンケート回答者の属性

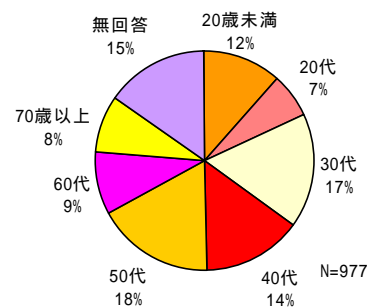
< 性別 >

回答者のうち、男性は51%、女性は29%であった(無回答者は20%)。



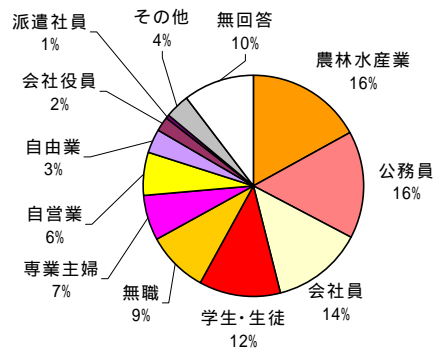
< 年齢 >

50歳代、30歳代は概ね20%を占め、40歳代、20歳未満は10%程度である。回答者の年齢層については、大きな偏りはなかった。



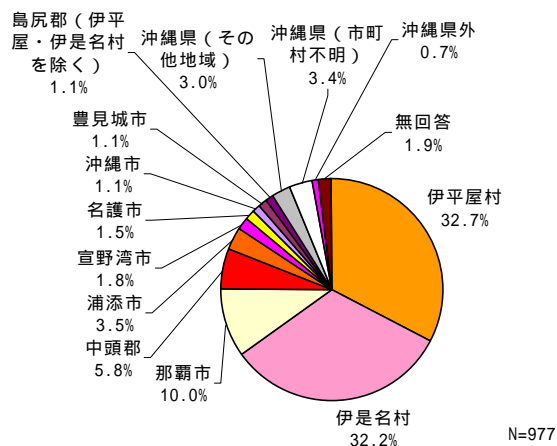
< 職業 >

農林水産業、公務員は16%を占め、次いで会社員(14%)、学生・生徒(12%)と続く。回答者の職業については、大きな偏りはなかった。



< 居住地 >

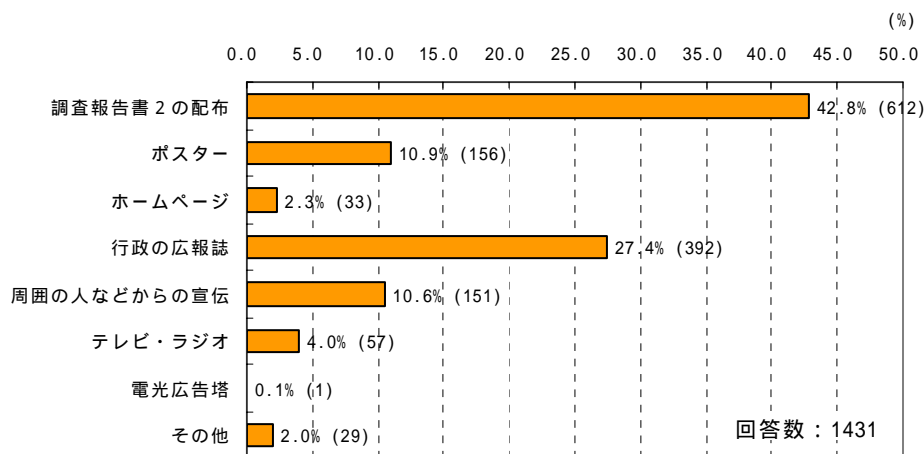
伊平屋・伊是名村の居住者は全体の65%を占める。次いで、那覇市(10%)、中頭郡(6%)、浦添市(4%)と続く。沖縄県外者は0.7%であり、大半の意見は沖縄県居住者である。



2) P I 活動の開始を知った情報メディア等 (複数回答あり)

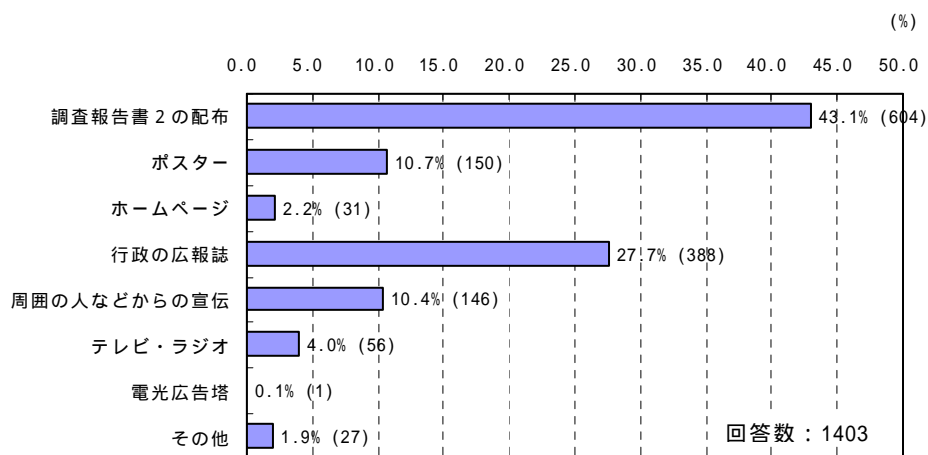
P I 活動の開始を知った情報メディアについて、回答者全体及び沖縄県居住者は、「調査報告書 2 の配布」が 43% で最も多く、約半数を占める。次いで、「行政の広報誌」が 27%、「ポスター」及び「周囲の人などからの宣伝」が 11% であった。

< 全体 >

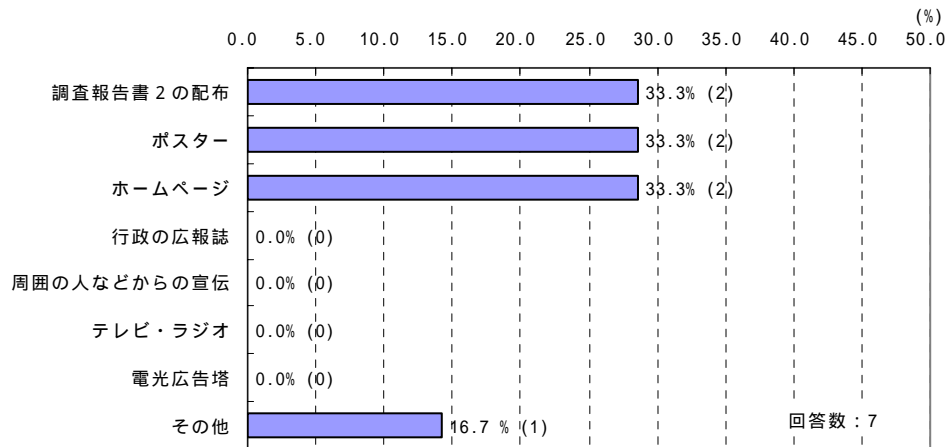


() 内は各情報メディアの回答数

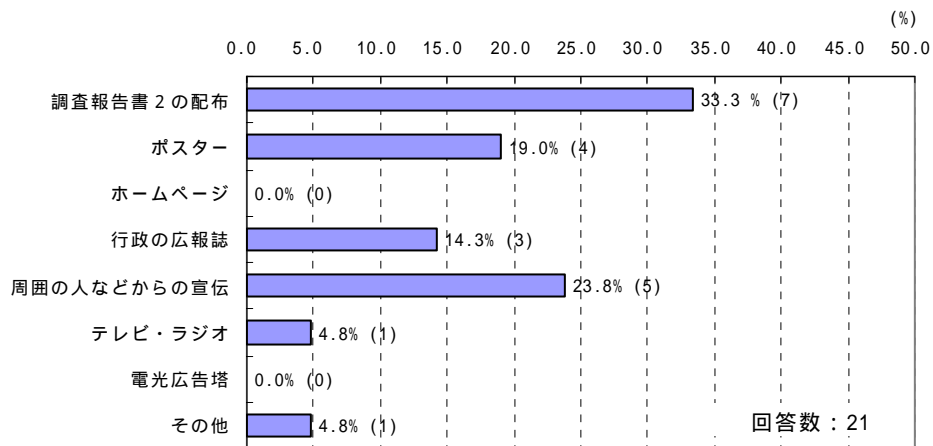
< 沖縄県居住者 >



< 沖縄県外居住者 >



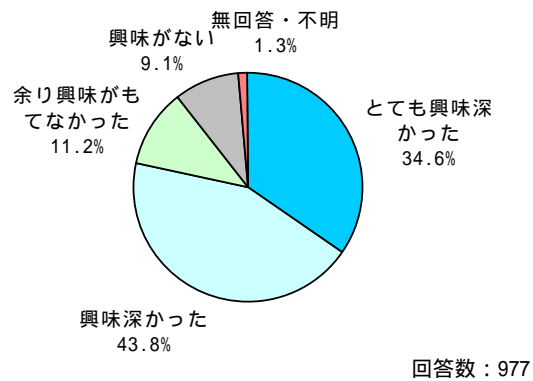
< 居住地無回答者 >



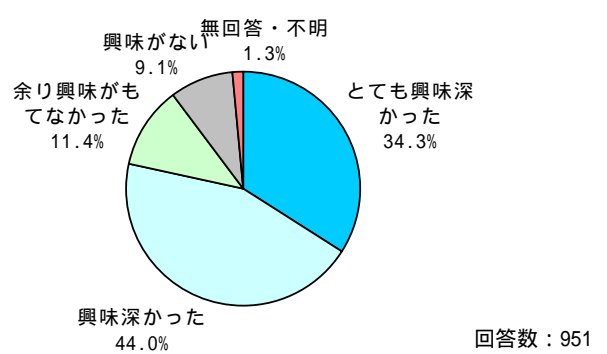
3)「伊平屋空港の調査報告書2」の内容についての興味

調査報告書の内容について、回答者全体では「とても興味深かった」が35%、「興味深かった」が44%であり、この両方を合わせると全体の約8割を占めた。沖縄県居住者もほぼ同様の傾向を示している。

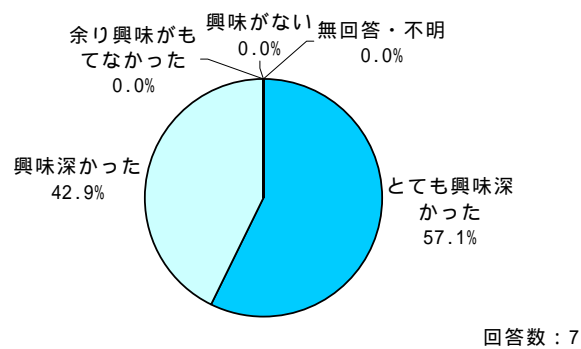
<全体>



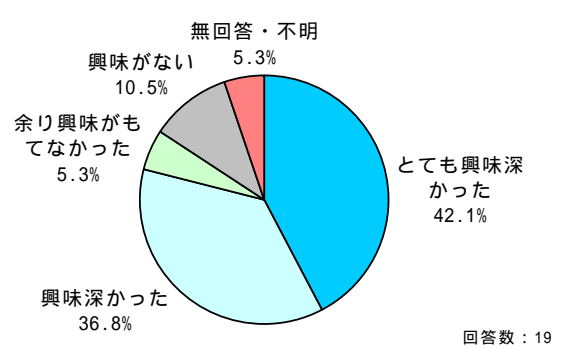
<沖縄県居住者>



<沖縄県外居住者>



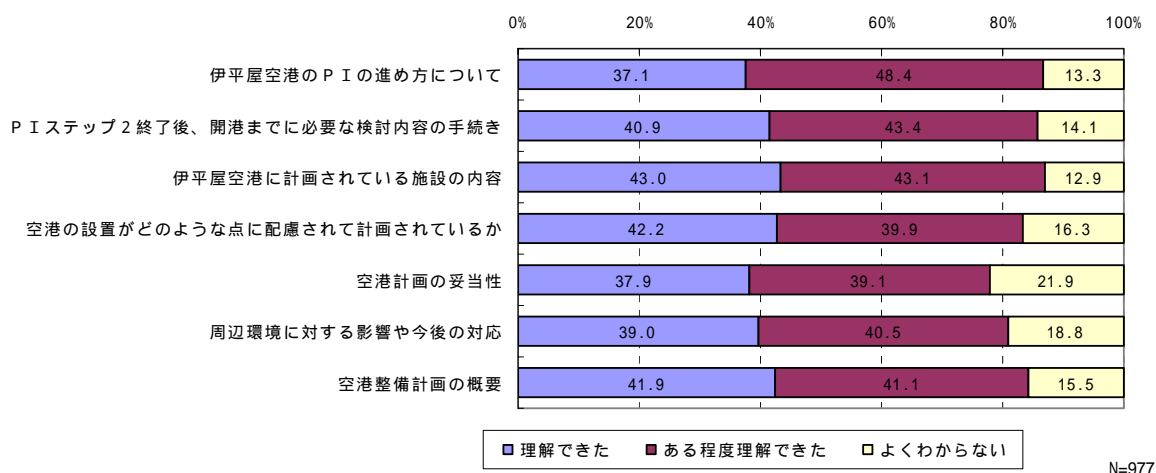
<居住地無回答者>



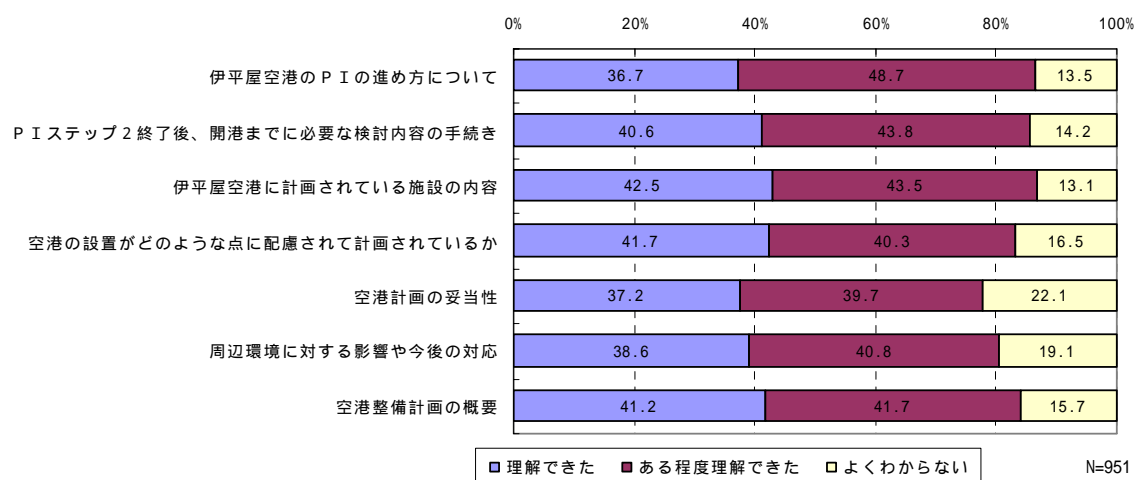
4)「伊平屋空港の調査報告書2」の内容についての理解度

調査報告書の内容について、回答者全体では「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人は、「空港計画の妥当性」を除いた項目で80%を超えており、大きな偏りはない。伊平屋村の村民に関しても同様の傾向を示している。伊是名村では、全ての項目に関して「理解できた」は10%を下回っているが、「ある程度理解できた」は60%前後を占めており、両方を合わせると、60~80%を占める。

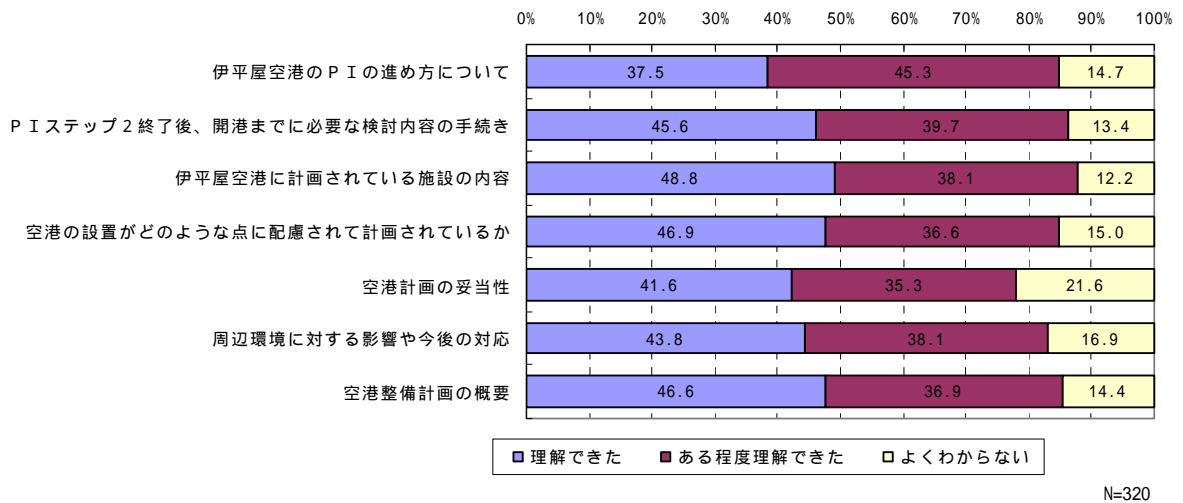
<全体>



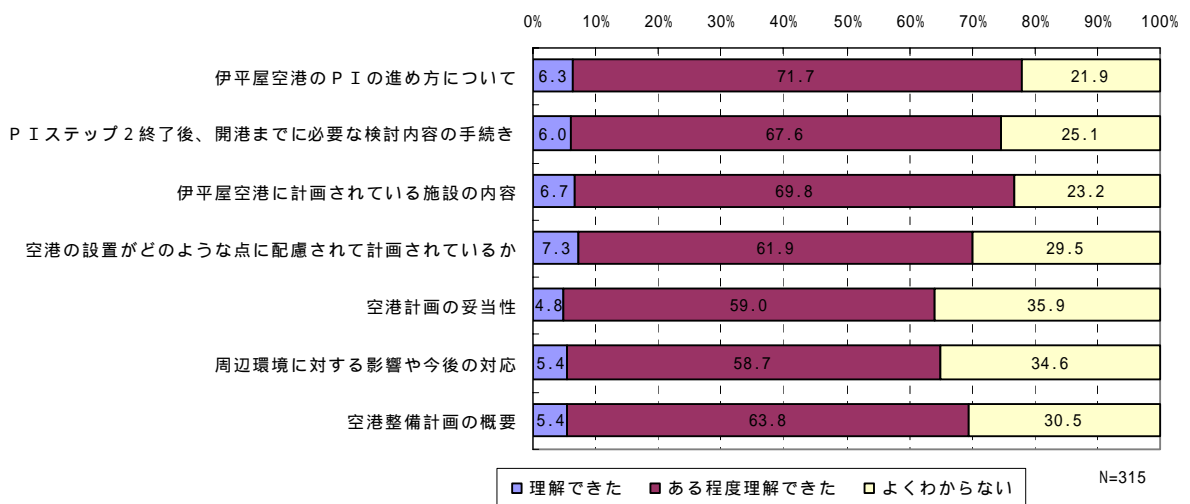
<沖縄県>



< 伊平屋村 >



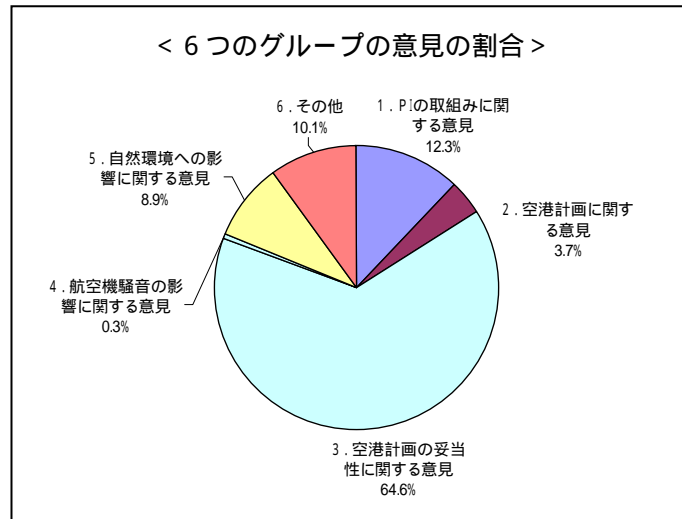
< 伊是名村 >



5) 寄せられた意見

寄せられた意見(445通)のなかには、複数の内容(意見)を含むものがあり、これを個々の内容になるよう分割すると、合計594件の意見に整理された。594件の意見を、「調査報告書2」の内容をもとに整理した6つのグループに分類し、さらに内容別に分類した結果、合計で19の分類に整理された。その中で「空港の妥当性に関する意見」が多く384件となっている。なお、空港整備に対する否定的な意見は87件(14.6%)となっている。

以下に寄せられた意見の分類と寄せられた意見への対応を示す。



分類	件数	割合
1. PIの取組みに関する意見	73件	12.3%
1) PIの進め方に関する意見	(20件)	
2) 調査報告書に関する意見	(53件)	
2. 空港計画に関する意見	22件	3.7%
1) 空港計画に期待する意見	(10件)	
2) 空港施設に関する意見	(7件)	
3) 空港配置に関する意見	(5件)	
3. 空港計画の妥当性に関する意見	384件	64.6%
1) 航空利用者の見込みを詳しく知りたいという意見	(18件)	
2) 費用便益分析結果を詳しく知りたいという意見	(20件)	
3) 航空路線の開設・維持に関する意見	(24件)	
4) 空港整備による効果を期待する意見	(71件)	
5) 空港建設の必要性を疑問視する意見	(77件)	
6) 空港建設は必要又は早期実現を要望する意見	(154件)	
7) 伊平屋・伊是名間の移動手段の整備が必要とする意見	(20件)	
4. 航空機騒音の影響に関する意見	2件	0.3%
1) 航空機騒音の影響の心配がないので、安心したという意見	(1件)	
2) 少しでもうるさくなるのは困るという意見	(1件)	
5. 自然環境への影響に関する意見	53件	8.9%
1) 自然環境への配慮を要望する意見	(43件)	
2) 自然環境を重視し空港建設に対して否定的な意見	(10件)	
6. その他	60件	10.1%
1) 航空サービスに対する要望に関する意見	(19件)	
2) 両村の人々の考え方を尊重する意見	(10件)	
3) その他	(31件)	
合計	594件	100%

寄せられた意見とその対応（意見総数 594 件）

件数	寄せられた意見	意見に対する対応
73 件	1 . P I の取組みに関する意見	
(20 件)	1) P I の進め方に関する意見 ・ P I の取組みを支持する意見 ・ P R を継続し、活動を更に盛り上げてほしいという意見	P I は公共工事の施策を立案する過程で地元住民などから幅広く意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。現在の計画を進める場合には、今後も伊平屋・伊是名両村をはじめ県民の皆様に必要な情報を提供し事業の透明性の確保に努めていきたいと考えています。
(53 件)	2) 調査報告書に関する意見 ・ わかりやすかったという意見 ・ もっと具体的な内容が知りたいという意見 ・ わかりやすい内容にしてほしいという意見	調査報告書の作成にあたっては、伊平屋・伊是名両村をはじめ県民の皆様のご理解が深まるよう、必要な情報を出来るだけわかりやすい内容で表現するよう努めました。なお、今後も伊平屋空港の整備に向けた検討を進める場合には、今回のご意見を踏まえ、十分理解しやすい内容で情報提供できるよう努めていきたいと考えています。
22 件	2 . 空港計画に関する意見	
(10 件)	1) 空港計画に期待する意見 ・ 施設規模は適切だとする意見 ・ 立派な施設を作って欲しいとする意見 ・ 良く考えられた空港計画だとする意見	現在、那覇 - 伊平屋路線の将来航空需要は約 3 万人を見込んでおり、航空機材は DHC-8 型機（39 人乗り）の 1 日 2 往復を想定しています。施設計画としては、滑走路（1,180m）、エプロン（2 バース）、旅客ターミナルビル等を計画していますが、事業実施段階で施設の適正規模の詳細な検討を行います。
(7 件)	2) 空港施設に関する意見 ・ 滑走路長を決めた経緯や航空機材の想定を詳しく知りたいという意見 ・ 滑走路長の短縮を検討してほしいという意見	那覇 - 伊平屋路線の航空需要を予測した結果、同路線の就航機材には DHC-8 型機（39 人乗り）を想定していることから、滑走路長はこれまで 1,200m で計画していました。しかし、島の文化財（拝所）を残し、海上部の埋立を極力少なくする観点から、滑走路を当初計画より 20m 短縮し 1,180m としました。なお、航空会社には、この滑走路長でも DHC-8 型機が安全に飛行できることを確認しています。 DHC-8 型機（39 人乗り）の運航において、さらに滑走路を短くすることは、搭乗可能な人数、搭載可能な貨物量に制限が加わる可能性が高まると考えられます。
(5 件)	3) 空港配置に関する意見 ・ 空港候補地が野甫島となった経緯を知りたいという意見	伊平屋島は、狭小な地域に賀陽山（標高 294m）等の標高 200m 以上の山々が連なっており、急峻な地形が大部分を占めます。また、限られた平野部は集落や主要産業である農業で利用されています。一方、野甫島は高い場所でも標高 40m 程度で、比較的なだらかな丘陵地となっています。そのため、伊平屋村全域を対象とした適地調査では、伊平屋島においては海上案、野甫島においては陸上案を伊平屋空港の候補地として選定し、前泊地先、島尻地先、野甫島の 3 案を検討しましたが「飛行機の安全運航」「周辺地域への影響」「建設工事の規模」「自然環境への影響」など様々な条件を比較評価した結果、総合的に優位である野甫島を選定しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・環境面を考えると丘陵地帯に空港を計画したほうがよいという意見 ・滑走路方位は南北方向がよいという意見 	<p>島の丘陵地帯に空港を配置すると、島の景観が損なわれるほか、用地造成にかかる土工事が増加し、建設コストも大きくなると考えられます。</p> <p>現地での気象観測の結果、候補地における一年を通じた恒風は北東方向です。現在の滑走路方位（東北東）でも、DHC-8 型機（39 人乗り）の運航において、風向きの影響による就航率の低下は小さいと考えています。また、南北に配置するとなると、できるだけ埋立面積を減らすために野甫島の中央部に配置することになり、その結果、島を分断するため望ましくないと考えています。</p>
384 件	3 . 空港計画の妥当性に関する意見	
(18 件)	<p>1) 航空利用者の見込みを詳しく知りたいという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要予測の根拠を知りたいという意見 ・航空利用者数について疑問視する意見 	<p>需要予測は、船舶旅客に対するアンケート、他の離島に就航している船舶・航空の移動時間・運賃、旅客実績等の事例を参考に、伊平屋・伊是名両村からの旅客移動を対象として算出しています。需要予測の結果、那覇 - 伊平屋路線の航空需要は以下のように設定しています。</p> <p>2015 年度：2.9 万人 / 2020 年度：2.9 万人 / 2025 年度：3.0 万人 / 2030 年度：3.1 万人</p>
(20 件)	<p>2) 費用便益分析結果を詳しく知りたいという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な前提条件、算出結果を知りたいという意見 ・分析結果が信じられないとする意見 	<p>費用便益分析は、国が示している「空港整備事業の費用対効果分析マニュアル Ver.4」に基づき算出しています。なお、以下の内容は現段階におけるものであり、仮に空港整備に向けた検討を継続することになった場合、その検討結果を踏まえ見直すこともあります。</p> <p>需要予測 : 年間約 3 万人 (上記の予測結果を採用)</p> <p>利用者便益 : 約 65 億円</p> <p>総費用 : 約 33 億円</p> <p>(建設条件 : 事業費 : 約 40 億円 (工事期間 6 年間) / 評価期間 : 建設期間 + 50 年)</p> <p>費用便益比 : 2.0</p>
(24 件)	<p>3) 航空路線の開設・維持に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線の収支を心配する意見 ・路線の廃止を心配する意見 ・観光振興を含めた総合的な取り組みが必要だとする意見 	<p>航空会社の意見によると、伊平屋路線の開設にあたり、採算性の面からは充分な需要が必要だとしています。伊平屋路線の開設・維持には、両村の積極的な利用ほか、観光などで島を訪れる利用者を増やすための地元の取り組みが重要になると考えています。</p>
(71 件)	<p>4) 空港整備による効果を期待する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時間の短縮効果に期待する意見 ・交通の代替手段が得られることに期待する意見 ・島の生活に安心感が増すことに期待する意見 ・観光客をはじめとする入り込み客の増加に期待する意見 ・経済・産業の振興など島の活性化を期待する意見 	<p>伊平屋空港の整備による効果には、輸送手段の安定性の確保、島の活性化、産業の振興などがあげられます。伊平屋空港は伊平屋村と伊是名村の村民が将来にわたり安心して島で暮らせるための社会基盤と考えおり、伊平屋・伊是名地域における空港整備は必要であると考えています。</p>

(77件)	5) 空港建設の必要性を疑問視する意見 ・ 空港は必要ないとする意見 ・ 空港そのものを維持できるかが心配とする意見 ・ もっと他のことに税金を使うべきだとする意見 ・ 空港建設によって村や住民の負担が増えることが心配だとする意見	今後の取り組みとしては、P Iの実施結果を踏まえ「伊平屋空港の整備に向けた検討を継続するか否か」の判断を行います。検討を継続すると判断した場合には、飛行方式の設定や航空路線の開設の可能性などの課題を整理し、空港整備の事業化に向けて取り組んでいきます。なお、建設の際には県が事業主体となります。
(154件)	6) 空港建設は必要又は早期実現を要望する意見 ・ 一日も早い開港を望む意見 ・ 島の発展、島の生活には空港が必要とする意見	
(20件)	7) 伊平屋・伊是名間の移動手段の整備が必要とする意見 ・ 両村を結ぶ橋が必要だとする意見 ・ 定期船の実現が必要だとする意見 ・ 定期船の料金には補助が必要だとする意見	需要予測では、伊是名村から約1万人の旅客を見込んでおり、両村間の円滑な移動を確保することが前提となっております。両村を結ぶ交通手段については、両村の行政や関係者で構成される「伊平屋・伊是名定期航路等連絡協議会」が、定期的な船舶航路の実現を目指して検討しています。なお、沖縄県ではその拠点となる野甫港や内花港の再整備に着手しています。
2件	4. 航空機騒音の影響に関する意見	
(1件)	1) 航空機騒音の影響の心配がないので安心したという意見	航空機騒音はDHC-8型機(39人乗り)が1日2往復することを想定して予測しており、騒音の範囲は空港用地から僅かに広がる程度であり、航空機騒音による日常生活への影響は少ないと考えられます。
(1件)	2) 少しでもうるさくなるのは困るという意見	
53件	5. 自然環境への影響に関する意見	
(43件)	1) 自然環境への配慮を要望する意見 ・ 海上部の埋立てをやめる、又は対策を検討した方がほうという意見 ・ サング・自然海浜など自然環境の保全に配慮して欲しいという意見 ・ 空港ができて観光が盛んになると自然が壊されることを不安視する意見	伊平屋空港の整備事業は、その事業の種類と規模から、沖縄県の環境影響評価条例に基づく環境アセスメントの評価対象事業に該当します。なお、空港配置は海上部の埋立面積を極力少なくするよう計画しており、今後実施予定の環境アセスメントにより、自然環境に与える影響や保全対策について、詳細に検討していきたいと考えています。
(10件)	2) 自然環境を重視し空港建設に対して否定的な意見 ・ 自然が壊されるくらいなら空港はいらないとする意見 ・ 船だけで充分だとする意見	
60件	6. その他	
(19件)	1) 航空サービスに対する要望に関する意見 ・ 航空運賃を安く設定して欲しいとする意見 ・ 週末に便数を多くして欲しいとする意見 ・ 機内サービスに期待する意見	航空サービスに対する要望は、現在の計画を進める場合には、みなさまから頂いたご意見・要望を踏まえ、伊平屋空港協議会が中心となって航空会社に要望していきます。
(10件)	2) 両村の人々の考え方を尊重するという意見	
(31件)	3) その他	

3. P I活動（ステップ2）の評価

（1）評価方法

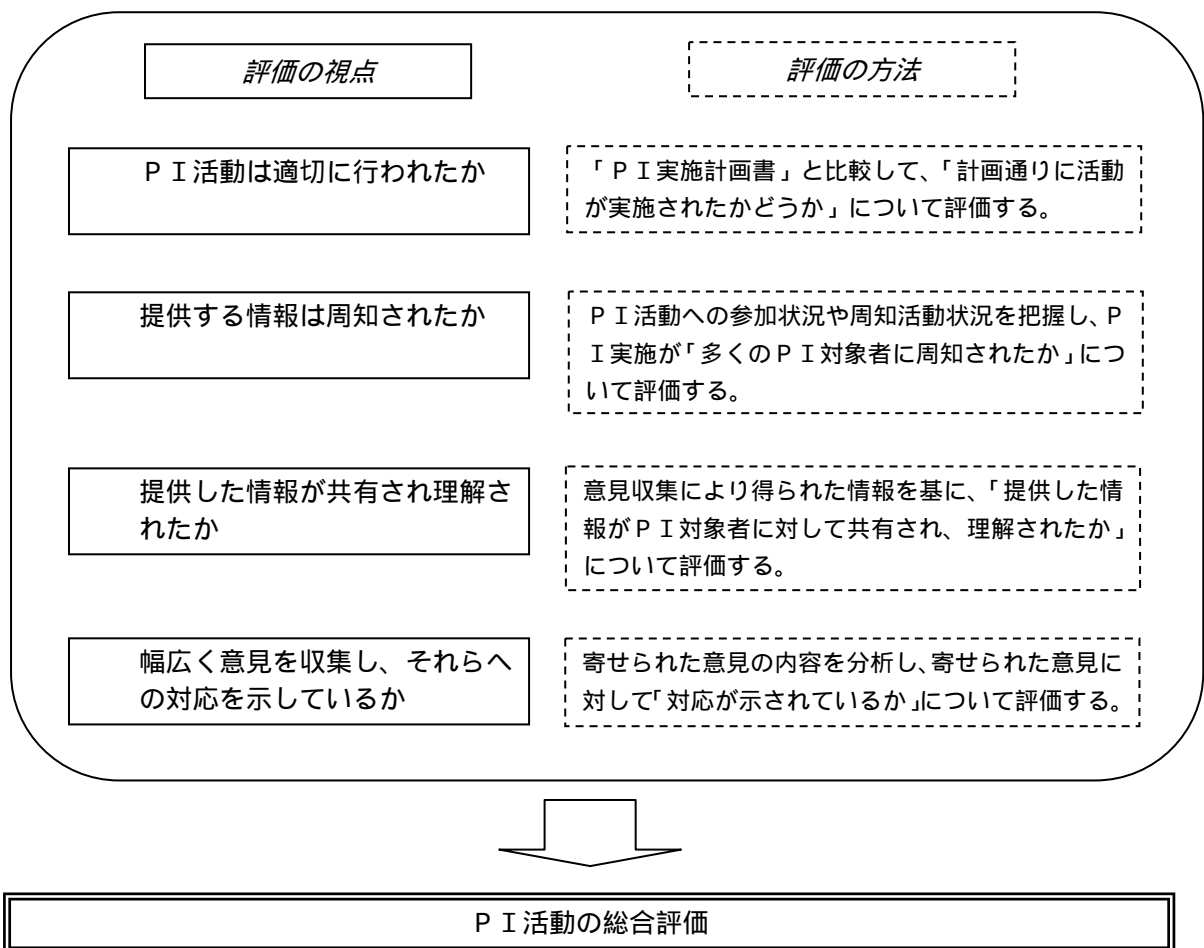
P I活動（ステップ2）の評価対象、評価の方法は以下に示すとおりである。

1）評価の対象

P I（ステップ2）で実施した「調査報告書2」に関する周知・広報活動及び情報提供・意見収集活動と、それらの活動を通じて収集した意見への対応を、評価対象とする。

2）評価の方法

P I活動の実施内容・実施結果は、以下に示す4つの視点で評価を行う。



(2) P I 活動の評価

上記で述べた「P I 活動の実施内容」の「適切性」及び「情報の周知」、「P I 活動の結果」の「情報共有・理解度」及び「意見収集」の4つの視点でP I 活動の評価を行う。

1) P I 活動は適切に行われたか

評価

「P I 実施計画書」に示されている活動は全て実施している。
 「P I 実施計画書」に示されている活動に加え、周知・広報活動に関してはマスコミへの情報提供や両村民全戸へのチラシの配布、情報提供に関してはパネル展示などを追加で実施している。
 P I 活動は適正に行われたと判断できる。

P I 活動結果

	活動内容	P I 実施計画書との対比	活動結果
周知・広報	行政広報誌等への記事掲載	計画通り実施	広報誌は3誌3回、新聞は琉球新報と沖縄タイムスの県民サロンにP I 実施の周知記事を掲載した。
	ポスター掲示	計画通り実施	伊平屋・伊是名村役場や県庁、港ターミナル等、P I 実施の周知を実施した。(配布枚数170枚)
	ホームページへの掲示	計画通り実施	ホームページを開設し、P I 活動の到着情報等の情報更新も適宜実施した。
	新聞への掲載	追加実施	新聞や副読誌の4誌に6回掲載。
	マスコミへの情報提供	追加実施	沖縄県土木建築部がマスコミ各社に対して定例記者懇談会を実施した。また、テレビ・ラジオを通してP I 実施の周知も行った。
	電光広告塔	追加実施	沖縄県議会議棟の前に設置してある電光広告塔にP I 実施の字幕を掲載し、P I 活動への参加を促した。
	防災無線	追加実施	地元説明会当日に防災無線による案内放送を実施した。
	チラシの配布	追加実施	伊平屋・伊是名村に調査報告書を配布する前に、P I の周知・広報としてポスターを縮小したチラシを全戸に配布した。
情報提供・意見収集	調査報告書2の配布	計画通り実施	調査報告書は3,499枚配布した。また、伊平屋村、伊是名村の全戸に対して配布した。
	ホームページへの掲示	計画通り実施	P I 活動の到着情報等の情報更新を適宜実施した。
	説明会	計画通り実施 (一部追加実施)	伊平屋・伊是名村民だけでなく、中学生(伊平屋)や、沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会を対象に実施した。
	パネル展示	追加実施	港ターミナル(3箇所)や沖縄県庁(2箇所)において、調査報告書2のパネル展示を行った。
	意見収集	計画通り実施	約1ヶ月間にわたり意見を募集した。意見収集数は、説明会以外で収集したハガキは774通、説明会時では169通、ホームページ(メール)では34通で、合計977通となった(回収率:28%)。

2) 提供する情報は周知されたか

評価

「調査報告書 2」の配布及び説明会を通じて、「調査報告書 2」に関する情報を、伊平屋、伊是名村民を中心に 3,499 冊提供している。

その他、パネル展示 5 箇所、ホームページを通じて「調査報告書 2」に関する情報を提供している。

その結果、977 人（回収率：28%）の方々からアンケートを回収することができ、主な P I 対象者である伊平屋・伊是名村の村民からは全体の 65%と数多くの意見が得られた。

アンケートの回答者は、性別、年齢、職業に偏りなく、幅広い方々に情報を提供できている。

提供した情報は、伊平屋村、伊是名村、沖縄県の方々を中心に周知できたと判断できる。

周知結果

項目	結果	
P I 活動の実施	調査報告書の配布、ポスターの掲示、広報誌への記事掲載、ホームページへの掲示、パネル展示と、さまざまな情報伝達手段を用いて、周知・広報を実施した。	
調査報告書の配布枚数	伊平屋・伊是名村の各戸に配布する等、3,499 枚配布した。	
アンケート回収数	アンケートの回収数はハガキとホームページ（メール）を合わせて 977 通だった。	
アンケートの回答者	性別	男性は 51%、女性は 29%だった（無回答者は 20%）。
	年齢	50 歳代が 18%で最も多く、次いで 30 歳代（17%） 40 歳代（14%）と続く等、幅広い年代から回答を得ることができた。
	職業	農林水産業及び公務員が 16%で最も多く、次いで、会社員（14%） 学生・生徒（12%）と続くなど、幅広い職種から回答を得ることができた。
	居住地	沖縄県が 90%以上を占め、そのうち伊平屋村と伊是名村は合計 65%を占めた。沖縄県外からの回答数は 0.7%であった。
P I 活動の開始を知った情報メディア	沖縄県内外合計では、「調査報告書の配布」が 43%で最も多く、続いて「行政広報誌」が 27%で多い。	

3) 提供した情報が共有され理解されたか

評価

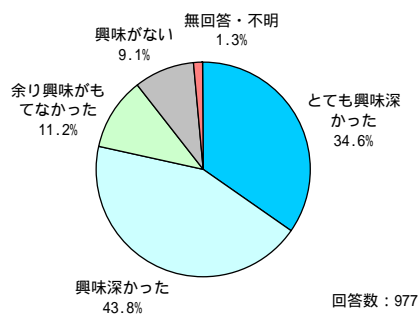
「調査報告書2」の内容について「とても興味深かった」、「興味深かった」と回答した人は、回答者全体の約80%に達している。

「調査報告書2」の内容について「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人は、回答者全体で全ての項目で概ね80%を超えている。

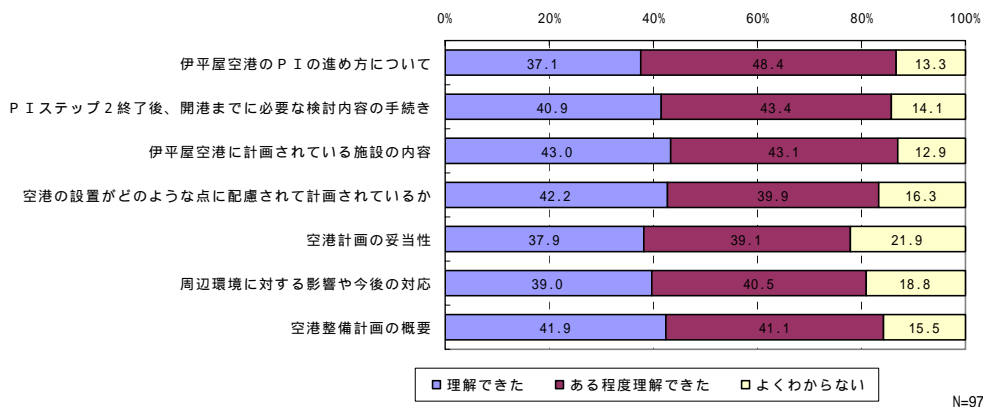
PI活動を通じて提供した情報の内容は、伊平屋村、伊是名村、沖縄県の方々を中心に共有され、興味をもって理解されたものと判断できる。

理解度の結果

< 調査報告書2の内容についての興味(全体) >



< 調査報告書2の内容についての理解度(全体) >



説明会の参加人数及び説明会でのアンケート回収数

開催場所	参加人数	アンケート回収数
伊平屋中学校 (対象者: 伊平屋中学校、野雨小中学校に通う中学生)	72名	64通
伊平屋村離島振興総合センター (対象者: 伊平屋村民)	74名	65通
伊是名村産業支援センター (対象者: 伊是名村民)	19名	17通
浦添宜野湾漁業協同組合研修センター (対象者: 沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会)	59名	23通

4) 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか

評価

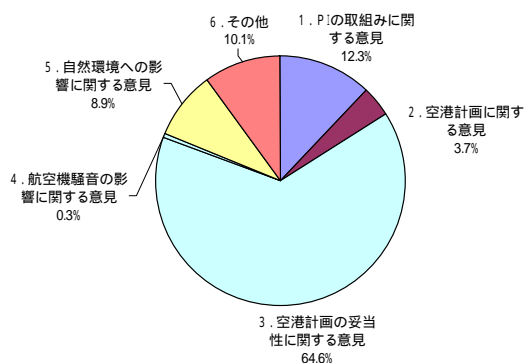
ステップ2では自由意見回答者は445名から得られ、その意見を594件の意見に分類整理した。意見を6つのグループに分類した結果、「空港の妥当性に関する意見」が384件と最も多かった。

また、寄せられた意見のなかにある質問、提案、要望などに対しては、伊平屋空港協議会としての考え方、今後の対応策を示している。

寄せられた意見への対応は明確に提示している。

PI活動結果

< 6つのグループの意見の割合 >



分類	件数	割合
1. PIの取組みに関する意見	73件	12.3%
1) PIの進め方に関する意見	(20件)	
2) 調査報告書に関する意見	(53件)	
2. 空港計画に関する意見	22件	3.7%
1) 空港計画に期待する意見	(10件)	
2) 空港施設に関する意見	(7件)	
3) 空港配置に関する意見	(5件)	
3. 空港計画の妥当性に関する意見	384件	64.6%
1) 航空利用者の見込みを詳しく知りたいという意見	(18件)	
2) 費用便益分析結果を詳しく知りたいという意見	(20件)	
3) 航空路線の開設・維持に関する意見	(24件)	
4) 空港整備による効果を期待する意見	(71件)	
5) 空港建設の必要性を疑問視する意見	(77件)	
6) 空港建設は必要又は早期実現を要望する意見	(154件)	
7) 伊平屋・伊是名間の移手段の整備が必要とする意見	(20件)	
4. 航空機騒音の影響に関する意見	2件	0.3%
1) 航空機騒音の影響の心配がないので、安心したという意見	(1件)	
2) 少しでもうるさくなるのは困るという意見	(1件)	
5. 自然環境への影響に関する意見	53件	8.9%
1) 自然環境への配慮を要望する意見	(43件)	
2) 自然環境を重視し空港建設に対して否定的な意見	(10件)	
6. その他	60件	10.1%
1) 航空サービスに対する要望に関する意見	(19件)	
2) 両村の人々の考え方を尊重する意見	(10件)	
3) その他	(31件)	
合計	594件	100%

(3) P I活動の総合評価

「P I実施計画書」の内容を上回るP I活動の実施により、提供した情報（調査報告書2）は、主なP I対象者である伊平屋、伊是名村民をはじめとする沖縄県居住者を中心に幅広く周知された。

また、アンケートの配布枚数3,499枚のうち、977名の方々から回答があり（回収率：28%）そのうち445名から自由意見が得られた。寄せられた意見は594件の意見に分類整理することにより、P I対象者の考え方を広く把握することができ、また、質問、提案、要望が書かれた意見に対しては対応策を示すことができた。

以上より、P I（ステップ2）の実施目標である「空港整備計画の妥当性等に係る情報を共有し、P I対象者の考え方を把握できる状態に達すること」は、達成できたと考える。

参考資料

1. P I活動（ステップ2）の実施状況（記事、写真）

（1）周知・広報

1）行政広報誌への記事掲載

<p>掲載広報誌</p> <p>広報いへや（No.290 2月号）</p> <p>掲載広告</p>	 
<p>掲載広報誌</p> <p>広報誌いぜな（No.445 2月号）</p> <p>掲載広告</p>	 

掲載広告

伊平屋空港についての意見募集
 ↳パブリック・インボルブメント
 (ステップ2)↳

伊平屋空港の整備計画の内容やその
 妥当性等について皆さんの考えやご意
 見を募集します。



●募集期間 2/1(金)〜2/29(金)

※期間中は、伊平屋・伊差名両村での
 地元説明会、今帰仁村連天港及び両村
 フェリー待合所等でパネル展示を行
 います。

※県ホームページでも情報を提供して
 います。

宮泉空港課(伊平屋空港協議会事務局)
 098-866-2400

2) 新聞記事への情報掲載

<p>掲載新聞</p> <p>掲載日</p>	<p>沖縄タイムス インフォプラザ</p> <p>1月25日(金)</p>
<p>掲載内容</p>	 <p>◆伊平屋空港についての意見 内容＝伊平屋空港の整備計画の内容やその妥当性など。応募方法＝2月から県庁、伊平屋村および伊是名村などに配布する「伊平屋空港の調査報告書」に添付している専用はがき、または県空港課・伊平屋村・伊是名村ホームページにて。☎(866)2400 県土木建築部空港課</p>
<p>掲載新聞</p> <p>掲載日</p>	<p>琉球新報 いきいき遊らんど 暮らし&情報ガイド</p> <p>1月30日(水)</p>
<p>掲載内容</p>	 <p>◆伊平屋空港についての意見募集～パブリック・インボルメント(ステップ2)～ 2月1日から1カ月間、伊平屋空港の整備計画の内容やその妥当性等について取りまとめた「伊平屋空港の調査報告書2」を県庁、伊平屋村および伊是名村などで配布する。専用のはがきや県空港課、伊平屋村および伊是名村ホームページから考えや意見をお寄せください。☎098(866)2400 県土木建築部空港課(前武富)</p>

掲載新聞	週刊沖縄建設新聞
掲載日	2月6日(水)

掲載内容

週刊 沖縄建設新聞 2008年(平成20年)2月6日(水)第2366号 (2)

伊平屋空港P1ステップ2を実施

伊平屋空港協議会

空港整備効果など情報提供

結果踏まえ、整備の検討を判断

伊平屋空港の整備は、沖縄県民生活に大きな影響を及ぼす。協議会は、整備の効果や課題について、関係機関や市民に情報を提供し、今後の整備方針を判断する。特に、P1ステップ2の実施結果を踏まえ、今後の整備計画を再検討するとしている。



伊平屋空港のイメージ図。P1ステップ2の整備箇所が示されている。

新都市牧志線を3月末から供用開始

慢性的な渋滞緩和と期待 全体事業費は約95億4千万円



新都市牧志線の完成予定図。渋滞緩和効果が期待されている。

県知事表彰

優良建設業者・技術者を表彰

首里部長「優秀な成績で完成」と評価

平成19年度優良建設業者・技術者表彰式が、1月29日、県庁で行われた。首里部長は、受賞者を表彰し、優秀な成績で完成したことを評価した。

2社を県土木建築部長表彰

末部門(和)と土建、電気部門(東洋電工)事務

土木建築部長表彰式が行われ、2社が表彰された。

那覇市 役所仮庁舎設計に10社指名

9,000㎡規模で来年5月頃移転

那覇市役所仮庁舎の設計に10社が指名された。移転は来年5月頃予定されている。

県土木建築部 指定管理者を募集

宇堅ビーチとあざまサンビーチ

県土木建築部は、宇堅ビーチとあざまサンビーチの指定管理者を募集している。

掲載新聞	週刊レキオ No.1194
掲載日	2月14日(木)

掲載内容

27 Lequio 441194 2008.02.14

28面から

高 速 公 道 展 覧 開

◇伊平屋空港についての地元説明会～伊平屋空港PI(ステップ2)～ 20日(水)19時＝伊平屋村離島振興総合センター 21日(木)19時＝伊是名村産業支援センター 無料 ☎098(866)2400〔県土木建築部〕

掲載新聞	琉球新報 沖縄タイムス 県民サロン No446
掲載日	2月15日(金)

掲載内容

県民サロン No.446

伊平屋空港の整備計画の内容やその妥当性等について広く県民の皆さまの意見を募集しています。

●募集締切/2月29日(金)

☎098(866)2400

掲載新聞 沖縄タイムス インフォプラザ

掲載日 2月22日(金)

掲載内容




◆伊平屋空港についての説明会
～パブリック・インボルブメント
(ステップ2) 27日19時。浦添
宜野湾漁業共同組合研修セン
ター。内容＝「伊平屋空港の調査報
告書2」の内容についての説明
会。本島在住の伊平屋村人会お
よび伊是名村郷友会の人対象。☎
(866)2400 県土木建築部空港課
(伊平屋空港協議会事務局)

掲載新聞 琉球新報 いきいき遊らんど 暮らし&情報ガイド

掲載日 2月27日(水)

掲載内容



◆伊平屋空港についての説明
会～パブリック・インボルブメ
ント(ステップ2)～(浦添宜
野湾漁業協同組合研修セン
ター)27日(水)19時。☎098(86
6)2400 県土木建築部空港課
(前武當)

3) テレビ放送

放送番組	「うまんちゅひろば」
放送期間	2月23日～24日
放送内容	

4) ラジオ放送

放送番組	「ラジオ県民室」
放送期間	2月18日～22日
放送内容	<p>ラジオ県民室放送原稿(2月18日～2月22日放送分)</p> <p>【1】(イベント)合同企業説明会「適職フェア」 【2】(イベント)IT・コールセンターフォーラム及び情報産業企業合同説明会・面接会 【3】(イベント)第25回 外国人による日本語弁論大会 【4】(募集)県有地一般競争入札 【5】(募集)沖縄県自然環境保全審議会委員の公募 【6】(募集)沖縄県国土利用計画審議会委員の公募 【7】(募集)沖縄振興計画第3次分野別計画(案)に対する意見募集 【8】(募集)伊平屋空港のパブリック・インボルブメント(ステップ2) 【9】(募集)海外県系人子弟を受け入れるホストファミリー募集 【10】(募集)平成20年度内閣府青年国際交流事業参加青年募集 【11】(お知らせ)平成20年緑の募金 【12】(お知らせ)住民税における住宅ローン控除のお知らせ 【13】(お知らせ)北部・宮古・八重山福祉保健所のHIV抗体即日検査日の拡大及び一般健康診断業務の終了 【14】(お知らせ)戦没者等の遺族に対する特別弔慰金について 【15】(お知らせ)中城湾港マリントウン住宅用地分譲</p> <p>【8】(募集)伊平屋空港のパブリック・インボルブメント(ステップ2)</p> <p>伊平屋空港に関するご意見募集のお知らせです。 県では、伊平屋空港の整備計画の内容やその妥当性等について広く県民の皆様からご意見を伺うため、伊平屋空港のパブリック・インボルブメントステップ2を実施しています。募集締切は2月29日(金)です。詳しくは、県空港課098(866)2400又はホームページをご覧ください。【先頭へ】</p>

5) ポスター掲示

<p>掲示期間</p>	<p>1月21日（PR活動開始）～2月29日（意見募集終了）</p>
<p>掲示場所 & 掲示内容</p>	<p>伊平屋村、伊是名村役場 沖縄県庁 那覇市、名護市、浦添市等の各役所 那覇空港、離島空港 運天港（伊平屋発券所・伊是名発券所） 前泊港（伊平屋村）ターミナル 仲田港（伊是名村）ターミナル フェリー（運天 - 前泊、運天 - 仲田） 伊平屋村、伊是名村関係団体 等</p> 
<p>掲示風景</p>	 <p>フェリー伊平屋</p> <p>ニュー伊是名</p> <p>伊是名村役場</p> <p>運天港(伊平屋発見所)</p> <p>運天港(伊是名発見所)</p> <p>前泊港</p>

6) ホームページへの情報掲載

<p>掲示期間</p>	<p>1月21日（PR活動開始）～</p>
<p>リンク場所</p>	<p>沖縄県土木建築部空港課ホームページ 伊平屋村ホームページ 伊是名村ホームページ</p>
<p>掲示内容</p>	

(2) 情報提供・意見収集

1) 調査報告書2の配布

<p>配布期間</p>	<p>1月21日（PR活動開始）～2月29日（意見募集終了）</p>
<p>掲示場所 & 掲示内容</p>	<p>伊平屋村役場、伊是名村役場 沖縄県庁 那覇市、名護市、浦添市等の各役所 那覇空港、離島空港 伊平屋、伊是名村の各世帯 地元説明会 地元関係団体 伊平屋村、伊是名村関係団体 等</p> 
<p>掲示風景</p>	 <p>伊平屋村役場</p> <p>那覇空港</p> <p>伊是名村役場</p> <p>仲田港</p> <p>前泊港</p> <p>沖縄県庁10F空港課</p> <p>沖縄県庁1F県民ホール</p>

2) パネル展

開催日時	開催場所	開催風景
<p>平成 20 年 2 月 18 日 (月) ~ 2 月 29 日 (金)</p>	<p>運天港ターミナル (伊平屋・伊是名発券所) 前泊港ターミナル 仲田港ターミナル</p>	 <p>前泊港ターミナル</p>
<p>平成 20 年 2 月 18 日 (月) ~ 2 月 29 日 (金)</p>	<p>沖縄県庁 10 階空港課</p>	
<p>平成 20 年 2 月 25 日 (月) ~ 2 月 29 日 (金)</p>	<p>沖縄県庁 1 階県民ホール</p>	

3) 説明会

開催日時	開催場所	参加人数	開催風景
平成 20 年 2 月 20 日 (水) 午後 3 時 10 分より	伊平屋中学校 (対象者: 伊平屋中学校、野甫 小中学校に通う中学生)	72 名	
平成 20 年 2 月 20 日 (水) 午後 7 時 00 分より	伊平屋村離島振興総合 センター (対象者: 伊平屋村民)	74 名	
平成 20 年 2 月 21 日 (木) 午後 7 時 00 分より	伊是名村産業支援 センター (対象者: 伊是名村民)	19 名	
平成 20 年 2 月 27 日 (水) 午後 7 時 00 分より	浦添宜野湾漁業協同組合 研修センター (対象者: 沖縄本島在住の伊平 屋村人会、伊是名村郷友会)	59 名	

2. 伊平屋空港 P I に関する説明会の議事要旨

(1) 伊平屋中学校

1) 日 時 平成 20 年 2 月 20 日 (水) 15:10 ~ 16:30

2) 場 所 伊平屋村立伊平屋中学校

3) 主催者側出席者

沖縄県土木建築部 空港課

伊平屋村 村長

4) 住民参加人数 72 人

5) 次第

開 会

挨 拶 (沖縄県、伊平屋村)

「伊平屋空港の調査報告書 2」の説明

質疑応答

意見募集用紙の記入

閉 会

6) 配布資料

伊平屋空港の調査報告書 2 (ご意見募集用紙を含む)

7) 質疑応答要旨

Q . パイロットは誰がやるのか。

A . パイロットは決まっています。就航する航空会社が決めます。

Q . 伊平屋空港が建設されたら、サンゴ礁は埋め立てるのか。

A . 野甫島に面したサンゴ礁は一部埋め立てることになるが、島の外側のサンゴ礁については埋め立てない。サンゴ礁の埋め立ては最小限に留めていきたい。

Q . 伊平屋 - 伊是名間の定期船の運賃、航空機の運賃はいくらかかるのか。

A . 定期船の運賃は 2,380 円を予定している。航空運賃は航空会社が決定することになるが、1 万円ぐらいだと考えられる。

Q . エプロンは 2 機駐機できるように設定しているが、航空機は 2 機飛ばすのか。

A . 1 日 2 往復飛ばすことを考えており、最大 2 機駐機することを想定している。

Q . なぜ就航する航空機は 39 人乗りなのか。

A . 伊平屋空港の利用者は年間 3 万人を想定しており、1 便当たりの座席数は DHC-8 型機の 39 人乗りが望ましいと考えている。

Q . 航空機の就航時間帯は何時を想定しているのか。

A . 就航時間帯については決まっていなく、就航する航空会社が決定する。

Q . 航空機はどのくらいの風速まで飛ぶことができるのか。

A . 台風など風が強い時は飛ぶことはできない。また、航空機は向かい風、追い風に対しては非常に強いが、横風に対して弱い。

以上

(2) 伊平屋村離島振興総合センター

1) 日 時 平成 20 年 2 月 20 日 (水) 19:00 ~ 20:30

2) 場 所 伊平屋村離島振興総合センター

3) 主催者側出席者

沖縄県土木建築部 空港課

伊平屋村 村長

4) 住民参加人数 74 人

5) 次第

開 会

挨拶 (沖縄県、伊平屋村)

「伊平屋空港の調査報告書 2」の説明

質疑応答

意見募集用紙の記入

閉 会

6) 配布資料

伊平屋空港の調査報告書 2 (ご意見募集用紙を含む)

7) 質疑応答要旨

Q . 工事に着手する時期はいつか。

A . P I (ステップ2) 終了後に、整備に向けた具体的な検討を継続するか否かを判断するため、具体的にいつから着手するのかについては回答できません。

Q . 航空法に対する手続きはこれから行うのでしょうか。また、久米島、南大東、伊平屋は第5次空港整備5箇年計画で閣議決定されていますが、この問題がなくても閣議決定はできたのでしょうか。

A . 航空法の手続きと5箇年計画の閣議決定は別のものになります。航空法の手続きは国土交通大臣が空港設置許可をするという法律上の手続きで、5箇年計画は法律上の位置づけはなく、5箇年毎に予算ベースで事業計画等が閣議決定されています。

Q . 航空機は何mの風が吹くと飛ばなくなるのか。

A . 航空機は滑走路方向から吹く風に対しては非常に強いですが、滑走路の横から吹く風には限界値があり、ある程度以上の強い風が吹くと、飛ばません。

Q . 伊江島の上空には訓練区域があるが、飛行ルートはどうなっているのか。

A . 伊江島の上空には訓練区域があるので、今後、訓練区域を避ける形で飛行方式の設定をしていきます。

Q . 伊平屋空港から直行便として、八重山など那覇以外の路線を想定しているのか。

A . 需要予測上では那覇路線の需要があり、他の八重山などの離島の需要予測はやっていません。エアラインが飛ばすだけの需要予測があると見込むかどうかは鍵となります。DHC-8型機は実際に与那国 - 那覇間で飛んでいるため、現在想定している機材で行くことはできますが、若干重量制限がかかる可能性があります。

以上

(3) 伊是名村産業支援センター

1) 日 時 平成 20 年 2 月 21 日 (木) 20:00 ~ 21:00

2) 場 所 伊是名村産業支援センター

3) 主催者側出席者

沖縄県土木建築部 空港課

伊是名村 副村長

4) 住民参加人数 19 人

5) 次第

開 会

挨拶 (沖縄県、伊是名村)

「伊平屋空港の調査報告書 2」の説明

質疑応答

意見募集用紙の記入

閉 会

6) 配布資料

伊平屋空港の調査報告書 2 (ご意見募集用紙を含む)

7) 質疑応答要旨

特になし

(4) 浦添宜野湾漁業協同組合研修センター

1) 日 時 平成 20 年 2 月 27 日 (水) 19:00 ~ 20:30

2) 場 所 浦添宜野湾漁業協同組合研修センター

3) 主催者側出席者

沖縄県土木建築部 空港課

伊平屋村 村長

伊是名村 副村長

4) 住民参加人数 59 人

5) 次第

開 会

挨拶 (沖縄県、伊平屋村、伊是名村)

「伊平屋空港の調査報告書 2」の説明

質疑応答

意見募集用紙の記入

閉 会

6) 配布資料

伊平屋空港の調査報告書 2 (ご意見募集用紙を含む)

7) 質疑応答要旨

Q . 空港建設費用は全額国負担か。県や村も負担するのか。

A . 第 3 種空港として整備する場合は、9 割が国補助で、1 割が県の負担です。村の負担はありません。

Q . コストを縮減して建設したために、後に不具合が生じることはないのか。

A . 安全性を確保した上でコストは縮減しています。

Q . 完成した後の維持管理はどこがするのか。

A . 県から村に委託費を出して、村が管理することになると考えられます。

Q . 雨水や汚水の排出先はどうなっているのか。

A . 現在は基本設計を実施している段階ですので具体的な計画は決まっていません。雨水については、今後、農林とも調整して利用できる方向で計画を進めます。

Q . 電気はどうなっているのか。

A . 一般的には通常使用されている電力を使用します。また、停電した場合に備えて自家発電設備も計画しています。

Q . 航空会社へはどこが打診するのか。

A . 伊平屋空港協議会の中に定期航空路部会というものがあまして、そこで具体的に検討して航空会社と調整します。

Q . 環境影響評価の段階で工事の方法とかを検討するのか。

A . もう少し設計が進んで段階で検討します。

Q . 那覇 - 伊平屋間の飛行時間はどのくらいか。

A . 約 30 分を想定しています。これには前後の手続き等は含んでいません。

Q . 伊平屋伊是名間の定期航路は行政側それとも民間のどちらが開設するのか。

A . 具体化はしていないが、両村で検討する協議会は立ち上げています。

Q . 伊是名では伊平屋 - 伊是名間の定期航路の開設が前提とならないと話が進まないと思うが。

A . ご指摘のとおりであり、伊平屋空港評価委員会でも同様の指摘がありました。まずは海路の整備をしっかりとできるように話し合いを行います。また、野甫港及び内花港については、北部振興により浮き桟橋の整備も行われます。

Q . この報告書に記載している計画は漠然としているが、いつ具体化されるのか。

A．航空法に基づく手続きの中で公聴会がありますので、その時までには具体化されます。

Q．空港が島を分断することになるので、小動物用の横断トンネル等を設置しないのか。

A．環境影響評価の中で、必要と判断された場合には設置する設置することになります。

以上